

2024年度 全国共同制作オペラ

Giacomo Puccini

ALL JAPAN OPERA CO-PRODUCTION PROJECT 2024

LA BOHEME

井上道義、最愛にして「最後」のオペラ！
盟友・森山開次とともに描く、若き芸術家たちの躍動

井上道義 指揮
森山開次 演出・振付・美術・衣裳

ラ・ボエーム

作曲：ジャコモ・プッチーニ／台本：ジュゼッペ・ジャコーザ、ルイジ・イッリカ

【全4幕／イタリア語上演／日本語・英語字幕付き／新制作】

Opera in Four Acts - Sung in Italian with Japanese and English Subtitles, New Production

2024年 9月29日 [日] 14:00開演 (13:15開場)
上演時間：約2時間50分 (休憩2回含む)

名取市文化会館 大ホール

Sun. 29 Sep. 2024, 2:00pm (Doors Open 1:15pm) Natori Performing Arts Center

【お問合せ】名取市文化会館 022-384-8900
<https://bunka.natori.or.jp>

主催：公益財団法人名取市文化振興財団
共催：tbc東北放送 後援：名取市／名取市教育委員会
助成：文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（共同制作支援事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会
協力：イオンモール名取



画：森山開次

芸術の都パリ、ボヘミアンたちの愛と青春——。「冷たい手を」「私の名はミミ」「私が街を歩けば」…プッチーニの名旋律が全編を彩る傑作《ラ・ボエーム》!

Michiyoshi Inoue, Conductor



井上は、歳をとると本来の自分でなくなるような恐怖感に襲われます。「元気な、踊るような、名誉欲のない、生きているより楽譜の中の作曲家と語り合うことを好む、夢想家の指揮者」である道義がどこか彼方へいってしまい、「[巨匠]とおだてられ、爺臭く動きも鈍く、希望は追憶に入れ替わり、ノスタルジーの中に生きる存在」になることを嫌います。指揮者とは水先案内人であり、天才たちが書き残した作品を、現実の荒ぶる水しぶきどらえ、時空を超え、コンサートホールというノアの箱舟を山の頂に接岸させる役目だと思っています。知性と愛ビューモアを駆使するには体力が必要です。2023年1月、自分の一生の哲学?を表現した「愛の実態は何か」を描くことが出来たのが、自作のオペラ『降福からの道』でした。嬉しいことに、良い結果と高評価を得ています。しかし、現実の近くにいる人でさえ、そこに描いた真実の愛の在り方を理解しない人が居て、絶望を感じることもあります。そんないつまでも青二才な道義の青春時代の憧れだったオペラ『ラ・ボエーム』を、坐骨神経痛や弱った腎臓のこどを忘れ、素晴らしい演出家と歌手ともう一度火花を上げることが出来るなんて、こんな嬉しいこと…いえいえ、こんな辛いことはありません。頑張ります。

井上道義 [指揮]

1946年東京生まれ。桐朋学園大学卒業。ニュージーランド国立交響楽団首席客演指揮者、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、京都市交響楽団音楽監督兼任指揮者、大阪フィルハーモニー交響楽団首席指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督を歴任。2007年ショスタコーヴィチ交響曲全曲演奏プロジェクトを企画立案。2014年4月病に倒れるが、同年10月に復帰を遂げる。近年では、全国共同制作オペラ『フィガロの結婚〜庭師は見た!〜』『ドン・ジョヴァンニ』、大阪国際フェスティバル『バーンスタイン: ミサ』、『井上道義:A Way from Surrender ~降福からの道~』等を、いずれも総監督として率い既成概念にとらわれない唯一無二の舞台を作り上げている。2018年「大阪府文化賞」「大阪文化祭賞」「音楽クリティック・クラブ賞」、2019年NHK交響楽団より「有馬賞」、2023年「第54回サントリー音楽賞」を受賞。オーケストラ・アンサンブル金沢桂冠指揮者。2024年12月に指揮活動の引退を公表している。

Kaiji Moriyama, Stage director, Choreographer, Designer

森山開次 [演出・振付・美術・衣裳]

2005年自ら演出振付出演するソロダンス『KATANA』でニューヨークタイムズ紙に「驚異のダンサー」と評され、2007年ヴェネチア・ビエンナーレ招聘。2013年『曼荼羅の宇宙』で芸術選奨新人賞他三賞受賞。同年文化庁文化交流使。2019年『ドン・ジョヴァンニ』(総監督・指揮:井上道義)でオペラ初演出。2020年新国立劇場パレエント「竜宮」演出振付美術衣裳。2021年東京2020パラリンピック開会式演出・チーフ振付。能・雅楽など伝統芸能とのコラボレーション、AIピアノとの共演など実験的なプロジェクトに多数取り組む傍ら、映画・広告・テレビなどジャンルを自在に横断し活動。現代のダンスシーンに牽引するアーティストの一人である。

自由に芸術を志す若者達の集い住む屋根裏部屋に、私もしばらく居候させてもらう。若き詩人の甘美な言葉に揺られて、破天荒な画家の絵の具のしぶきとなり、人の理を洞察しては、哲学者と古書の束にうづくまる。そして、陽気な音楽家と共に踊りあかす日々を送るのだ。冬のパリ、貧しさで寒さに身を震わせながらも、暗い屋根裏部屋に灯された小さな愛。真っ赤な花のごとく燃えては、春を迎える前に朽ちる絶望。プッチーニの至極の音楽にのせて、彼らの歓びと苦悩の日常の風景を鮮明に描く。私は舞踊家として芸術家たちと戯れ、心情を身体から湧き出させたい。井上道義さんの最後で最愛のオペラ『ラ・ボエーム』に、私の芸術の灯火を捧げて取り組む。時を繋いだ芸術の夢を追いかけながら。



あらすじ STORY

第1幕

1830年頃のパリ。どある安アパートの屋根裏部屋を舞台に、4人の芸術家の卵たちが青春を謳歌していた。詩人のロドルフォが部屋にひとりしていると、階下に住むお針子のミミがろうそくの火を借りにやって来て…

第2幕

今夜はクリスマスイブ。にぎわうカフェ・モミュスで、画家マルチェッロとかつて恋人だったムゼッタが再会する。盛り上がった若者たちはムゼッタのパトロンに支払いを押し付けて笑いながら店を去っていった。

第3幕

時が流れ2月、ロドルフォは結核を患っているミミを思い別れようと決意。一方のマルチェッロは浮気の多いムゼッタと口論になる。

第4幕

しばらく時が経ってもミミのこどを忘れられずにいるロドルフォ。そこへ衰弱したミミを連れてムゼッタが現れる。ミミは、ロドルフォのもとで最期を迎えたいとやって来たのだった。

(オリジナルの設定に基づく)

キャスト・関連図

いま聴きたい新世代テールの筆頭!

ロドルフォ (詩人)
工藤和真
Rodolfo Kazuma Kudo

ミミ
ルザン・マンタシヤン
Mimi Ruzan Mantashyan

艶やかな強さを秘めるチャミングな若き歌姫

ムゼッタ
中川郁文
Musetta Ikumi Nakagawa

豊かな声と表現力で聴く者を魅了

マルチェッロ (画家)
池内響
Marcello Hibiki Ikeuchi

ダンサー Dancers
梶田留以 Rui Kajita, 水島晃太郎 Kotaro Mizushima, 南帆乃佳 Honoka Minami, 小川莉伯 Riku Ogawa

合唱団: 仙台オペラ協会ボエーム合唱団
Sendai Opera Association Bohème Choir
児童合唱: NHK仙台少年少女合唱隊・宮城ボエーム児童合唱団
NHK Sendai Boys and Girls Choir, Miyagi Bohème Junior Choir
管弦楽: 仙台フィルハーモニー管弦楽団
Sendai Philharmonic Orchestra
バンダ・ペル・ラ・ボエーム
Banda per la bohème

パトロン

ジョナール
高橋洋介
Aicindoro Yosuke Takahashi

コッリーネ (哲学者)
スタニスラフ・ヴォロビョフ
Colline Stanislav Vorobyov

アルチンドロ
仲田尊一
Alicindoro Hirohito Nakata

ベノア
晴雅彦
Benoit Masahiko Hare

パルピニョール
谷口耕平
Parpignol Kohei Taniguchi

STAFF

- 合唱指揮: 辻 博之
Hiroyuki Tsuji, Chorus master
- 照明: 足立 恒
Hisashi Adachi, Lighting designer
- 映像: 山田晋平
Shimpei Yamada, Video designer
- 美術コーディネーター: 中村友美
Tomomi Nakamura, Scenery coordinator
- 衣裳コーディネーター: 林 なつ子, 朝野なつ美
Natsuko Hayashi, Natsumi Asano, Costume coordinators
- メイクコーディネーター: 石原ももこ
Momoko Ishihara, Make-up coordinator
- 音響: 石丸耕一(東京芸術劇場)
Koichi Ishimaru, Sound designer
- 副指揮: 佐藤正浩, 桑原裕介, 瀬山智博
Masahiro Sato, Yusuke Kumehara, Tomohiro Seyama, Assistant conductors
- コレベティア: 服部容子
Yoko Hattori, Korrepetitor
- 演出助手: 奥村啓吾, 彌六
Keigo Okumura, Miroku, Assistant directors
- 振付助手: 美木マサオ
Masao Miki, Assistant choreographer
- 舞台監督: 酒井 健
Takeshi Sakai, Stage manager
- プロダクションマネジャー: 關 秀哉
Hideya Seki, Production manager

Giacomo Puccini

LA BOHEME

プッチーニ没後100年

全国共同制作オペラ

全4幕/イタリア語上演/日本語・英語字幕付き
新制作

ラ・ボエーム

指揮—井上道義
演出・振付—森山開次
美術・衣裳

全国共同制作オペラシリーズとは

全国の劇場・音楽堂、芸術団体等が連携し、単館では成しえない、独創的かつ高いレベルのオペラを新演出で制作するプロジェクト。2009年度から開始し、近年では野田秀樹演出のモーツァルト『フィガロの結婚～庭師は見た!～』（2015年度/全国10都市13公演、2020年度/3都市3公演）、森山開次演出の『ドン・ジョヴァンニ』（2018年度/3都市4公演）、野村萬斎演出の『こうもり』（2023年度/3都市3公演）など実績を積んでいる。

全国公演スケジュール

9月21日〔土〕、23日〔月・休〕
9月29日〔日〕
10月6日〔日〕
10月12日〔土〕
10月19日〔土〕
10月26日〔土〕
11月2日〔土〕

各2:00PM開演

東京芸術劇場コンサートホール(2公演)
名取市文化会館大ホール
ロームシアター京都メインホール
兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール
熊本県立劇場演劇ホール
金沢歌劇座
ミュゼザ川崎シンフォニーホール

共同制作:

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場、公益財団法人名取市文化振興財団
ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、兵庫県立芸術文化センター
公益財団法人 熊本県立劇場、公益財団法人金沢芸術創造財団
ミュゼザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)
公益財団法人 読売日本交響楽団、公益財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団
京都市交響楽団、兵庫県立芸術文化センター管弦楽団、公益財団法人 九州交響楽団
オーケストラ・アンサンブル金沢(公益財団法人石川県音楽文化振興事業団)
公益財団法人 東京交響楽団

全国共同制作オペラ《ラ・ボエーム》特設サイト

<https://la-boheme2024.jp/>



2024年 9月29日〔日〕 開演 14:00 (開場 13:15)
上演時間:約2時間50分(休憩2回含む)

名取市文化会館 大ホール

〒981-1224 宮城県名取市増田字柳田520

チケット (全席指定) | S席 11,000円 | A席 8,500円 | B席 6,500円 | U-30 (小学生~30歳) 各券種 3,000円引 (名取市文化会館窓口のみ)
※シーパイン友の会会員各券種 500円引(U-30チケットを除く)

プレイガイド | 名取市文化会館 | 名取駅コミュニティプラザ | 藤崎 | チケットぴあ(Pコード:268-098) | ローソンチケット(Lコード:22275) | イープラス

発売日 | シーパイン友の会先行: 4/29〔月・祝〕 9:00 | 一般: 5/18〔土〕 10:00

- ### ご注意
- 未就学児入場不可。
 - 車椅子席及びU-30チケットは、名取市文化会館窓口のみでの取扱いとなります。詳しくは、お問合せ下さい。
 - U-30チケットは、公演当日に受付にて年齢が確認できる証明書(学生証、免許証等)をご提示ください。
 - 開演に遅れますと、長時間入場をお待ちいただくことや、本来のお席にご案内できない場合がございます。

アクセス

○仙台空港アクセス線 杜せきのした駅より徒歩8分
○JR名取駅より徒歩17分
※タクシーをご利用の場合はJR名取駅が便利です。
※駐車場の収容台数には、限りがございます。公共交通機関をご利用になるか、できる限り乗り合わせてご来館くださいますよう、みなさまのご協力をお願いいたします。

名取市文化会館

〒981-1224 名取市増田字柳田520
TEL.022-384-8900(第1・3火曜日を除く9:00~18:00)
ホームページ: <https://bunka.natori.or.jp/>



文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業(共同制作支援事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

